

東南アジア(マレーシア・タイ・カンボジア・ベトナム)一人旅

w22-0088k 仙波 祐一

期間 : 8月14日 ~ 9月14日 (31日間)

費用 : 約20万円(全費用)

<為替レートと水>

マレーシア → 1リンギット=24.18円	水1L=2.5リンギット程度
タイ → 1バーツ=2.49円	水1L=12バーツ程度
カンボジア → 1リエル=0.019円	水1L=3000リエル程度
ベトナム → 1ドン=0.003682円	水1L=5000ドン程度



仙波祐一 東南アジア 一人旅 スケジュール表 8月14日-9月14日

日付	14日/15日	8月16日	8月17日	8月18日	8月19日	8月20日	8月21日
曜日	日/月	火	水	木	金	土	日
滞在先	マレーシア/クアラルンプール						マレーシア→タイ
	クアラルンプール市内をぶらぶら			クアラルンプール市内と周辺の市内をぶらぶら			KL→バンコク
	国立博物館・モスク・バードパーク・インディペンデント記念館 Etc. . .						By Airasia
							移動時間:1時間

日付	8月22日	8月23日	8月24日	8月25日	8月26日	8月27日	8月28日
曜日	月	火	水	木	金	土	日
滞在先	タイ/バンコク	タイ/タオ島				タイ/バンコク	
	バンコク→タオ島	ダイビングライセンス取得・ファンダイブ Etc. . .				バンコクぶらぶら	
	By Bus&Boat	同じ交通手段でバンコクへ				カオサン通り、お寺 Etc. . .	
	移動時間:12時間						

日付	8月29日	8月30日	8月31日	9月1日	9月2日	9月3日	9月4日
曜日	月	火	水	木	金	土	日
滞在先	タイ/バンコク			タイ→カンボジア		カンボジア/シェムリアップ	
	アユタヤー&カンチャナブリにも訪問			バンコク→アラン	アラン→カンボジア	アンコール・ワット	プレアヴィヒア
	遺跡巡り・カンチャナブリ戦争博物館・レンタバイクでぶらぶら			By Bus	By Walk&Bus	遺跡・サンライズを見た	遺跡・地平線を見た
				移動時間:5時間	移動時間:3時間		

日付	9月5日	9月6日	9月7日	9月8日	9月9日	9月10日	9月11日
曜日	月	火	水	木	金	土	日
滞在先	カンボジア/シェムリアップ	カンボジア/プノンペン			カンボジア→ベトナム	ベトナム/ホーチミン	
	ベンメリア	AI Center (小学校) でボランティア				ホーチミンをぶらぶら	
	ipodを落とした	昼休みが長かったのでプノンペンでぶらぶら			プノンペン→ホーチミン	ベトナム戦争博物館 Etc. . .	
		キリング・フィールド、トゥール・スレーン、スラム街 Etc. . .			By Bus		
					移動時間:5時間		

日付	9月12日	9月13日	9月14日
曜日	月	火	水
滞在先	ベトナム→マレーシア	マレーシア→日本	→日本
	ホーチミン→KL	KL→成田	日本帰国
	By Airasia	By JAL	
	移動時間:3時間	移動時間:8時間	



感想

今回の旅を終えて、国・コミュニケーション・貧困・レディボーイ・日本・食べ物などなど。。ありとあらゆる分野について学ぶことができた。そして、日本の良いところ、悪いところを改めて見つめ直すことができた。また、世界的に不況の中、元気なアジアの新興国・発展途上国の都市部での消費の勢い、活気に圧倒された。マレーシアのクアラルンプール市内では、あまり面積が広くないのにも関わらず大型ショッピングセンターが数多く存在していた。タイのバンコクでも同様、先進国と変わらぬ姿を見せた。カンボジアの首都プノンペンも他の国の首都と比べると劣る点もあったが、建設中の巨大な建物などが多く、まだまだこれからという印象を強く感じた。ベトナムのホーチミンはとにかく人とバイクが多く、人々の活気に満ちていた。そんな勢いのある東南アジア諸国を見てきたが、問題点も多く発見した。印象深かったのは格差であった。都市部から車で一時間ほど離れると別の世界と感じさせられるほどの風景であった。同じ国でも発展していく地域、全く発展しない地域がはっきり目でわかった。都市部だからといって格差がないわけでもなかった。豪華なマンションに住む人がいれば、ボロボロのアパートのようなところに住む人もいて、学校で勉強したくてもお金がなくて通えない、ボランティアの無料で通える学校があっても家の手伝いや、家族のために小さい頃から働く子供もたくさんいた。このような問題解決が今後成長していくアジア諸国の課題であると感じた。

一ヶ月間楽しいことばかりの毎日であった。たくさん海外の友人もでき、互いに使い慣れていない英語で一緒に出掛けたり、食事をしたり、宿泊もした。今は face book でコンタクトをとっている。海外でできた人脈は大切にしたいと思う。途中で i-pod touch をなくし、精神的苦痛を受けたり、おかまに襲われそうになったりもした。苦労したことも多かったが、今となっては楽しい思い出だと思う。決して安全ではないと思うが、一人でバックパック背負って東南アジアを旅することをおすすめする。